

科目名称	ファッションデザイン概論		授業コード	10041130	
担当教員	笹崎 綾野	瀬能 徹、金沢 香恵、権 裕美、見寺 貞子			
単位数	2	授業形態	講義	科目分類	選択必修・芸術工学基礎/必修
年次	1	開講年度	2023	開講学期	前期
関連資格	教職				

授業実施方法	対面授業
使用するアプリ等	Teams
履修制限等	
授業の目的と到達目標 (学習成果)	ファッションデザインの今日的役割と未来に求められる視点を考察する能力を身につける。
授業計画の概要	衣服は第二の皮膚と言われるように、ファッションは私たちの身体と気持ちを常に覆っているものである。ファッションデザインを身体、テキスタイル、デジタル、メディア、市場、ユニバーサルデザイン等をキーワードにして探る。
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. ファッションとはなにか?…今日のファッションは何を感じているのか? (瀬能) 2. ファッショントレンドの発信と増幅 (瀬能) 3. 次世代の社会とファッションを考える (瀬能) 4. 時代を映し出すファッションデザイン (見寺) 5. 誰にとっても良いデザイン…ユニバーサルファッション (見寺) 6. 誰にとっても良いデザイン…社会課題とファッション (見寺) 7. 時代とファッション…近現代服の成り立ち (笹崎) 8. 時代とファッション…紳士服の成り立ちと日本への導入 (笹崎) 9. 具現化されるイメージ1…グラフィックイメージとしての身体表現 (金沢) 10. 具現化されるイメージ2…イメージ世界からのファッションデザイン (金沢) 11. 具現化されるイメージ3…ビジュアルボキャブラリーとしてのファッション (金沢) 12. デジタルとファッション…3D バーチャルファッション (権) 13. デジタルとファッション…ウェアラブルファッション (権) 14. デジタルとファッション…3D プリントファッション (権) 15. まとめ 今後のファッションデザインとは (笹崎)
実務経験のある教員	
授業時間外学習	ファッションは移り変わる時代の表層である。新聞、雑誌、テレビ、インターネット等の各種メディアを通じて、社会の状況を把握しておく。
評価方法	各回の小レポートと授業への取り組み姿勢により評価する。
指導方法	
使用テキスト	必要に応じてプリントを配布する。
参考テキスト・URL	
各自準備物	
実習費	
その他	ファッションデザイン学科生において、この科目の単位取得は、専門科目「必修」の扱い(芸術工学基礎の選択必修にはできない)となるので注意すること。

科目名称	ファッションデザイン実習 A			授業コード	10045101
担当教員	見寺 貞子	笹崎 綾野、権 裕美			
単位数	3	授業形態	実習	科目分類	必修
年次	1	開講年度	2023	開講学期	前期
関連資格	教職				

授業実施方法	対面授業
使用するアプリ等	KDU ポータル、Teams
履修制限等	F 生限定
授業の目的と到達目標 (学習成果)	・ファッションの歴史や背景の調査分析から、現代の感性で表現する力を身につける。 ・テキスタイルデザイン・ファッションデザイン・ファッション企画の基礎に取り組み、発想から制作、プレゼンテーションに至る基礎的な技術を身につける。
授業計画の概要	ファッションデザインの基礎実習として、テキスタイルデザイン・ファッションデザイン・ファッション企画の3コース合同で行う。本実習では、ファッションの歴史や背景を調査分析し、素材や造形の基礎知識を理解するとともに、制作目的に適したデザイン手法を学ぶ。
授業計画	1：課題説明 (各教員別解説)・衣服の歴史とモチーフの分析 2：テーマ設定とデザイン発案 3：スタイリング・企画発表 4：プリント柄デザイン 5：紗張り・地染め 6：プリント (原画・フィルム制作) 7：プリント (刷り) 8：プリント (仕上げ) 9：制作 (裁断) 10：制作 (芯張) 11：ソーイング (身頃) 12：ソーイング (ディティール) 13：ソーイング (仕上げ) 14：コーディネート・撮影 15：発表・合同講評会
実務経験のある教員	
授業時間外学習	①制作するアイテムについて情報収集すること。 ②素材収集を含めフィールドワークを行うこと。 ③発想時にスケッチを描くなど日常からの取組みを意識すること。
評価方法	・提出作品 70%、発表 10%、取組み姿勢 20%で評価する。
指導方法	・提出課題については、発表時と返却時にコメントを行う。
使用テキスト	必要に応じてプリントを配布する。
参考テキスト・URL	
各自準備物	
実習費	リサーチに関わる費用、布代は自己負担とする。
その他	

科目名称	ファッションデザイン実習 B			授業コード	20045111
担当教員	金沢 香恵	瀬能 徹、権 裕美			
単位数	3	授業形態	実習	科目分類	必修
年次	1	開講年度	2023	開講学期	後期
関連資格	教職				

授業実施方法	対面
使用するアプリ等	Teams
履修制限等	F 生限定
授業の目的と到達目標 (学習成果)	<ul style="list-style-type: none"> ・ファッションの歴史的定番アイテムをアレンジ・デザインすることにより、次世代のニーズに応える新しいアイテムとして展開するための発想力を養う。 ・ファッションデザインの次世代領域に向けて、企画提案能力を身につける。
授業計画の概要	ファッションデザインの基礎実習としてテキスタイルデザイン・ファッションデザイン・ファッション企画の3コース合同で行う。本実習では、今後のファッションデザインの課題を踏まえながら、独創的発想を具現化するデザインワークを行う。
授業計画	<ul style="list-style-type: none"> 1：課題説明 (各教員別解説) 2：市場調査・発案・仮説・プラン組立て 3：基本計画 (プランニングシート作成・テーマ発表) 4：基本計画 (デザイン・素材設定) 5：素材加工 (染色) 6：素材加工 (加工) 7：素材加工 (応用) 8：制作 (パターン) 9：制作 (裁断) 10：制作 (芯張) 11：ソーイング (本体) 12：ソーイング (仕上げ) 13：作品撮影・編集 14：プレゼンテーションボード制作 15：発表・合同講評会
実務経験のある教員	
授業時間外学習	<ul style="list-style-type: none"> ①制作するアイテムについて情報収集すること。 ②素材収集を含めフィールドワークを行うこと。 ③発想時にスケッチを描くなど日常からの取組みを意識すること。
評価方法	・提出作品 70%、発表 10%、取組み姿勢 20%で評価する。
指導方法	・提出課題については、発表時にコメントを行う。
使用テキスト	随時、配布する。
参考テキスト・URL	
各自準備物	
実習費	各自制作にかかる製作費および情報収集時の交通費は実費とする。
その他	

科目名称	デザインの現場		授業コード	10047321	
担当教員	笹崎 綾野	瀬能 徹、金沢 香恵、権 裕美、見寺 貞子			
単位数	2	授業形態	講義	科目分類	必修
年次	3	開講年度	2023	開講学期	前期
関連資格					

授業実施方法	対面授業
使用するアプリ等	KDU ポータル、Teams
履修制限等	F 生限定
授業の目的と到達目標（学習成果）	デザインの現場を通じて、ファッション及びテキスタイル業界、ファッション企画分野を理解し、自らの進路を身近な問題として具体的に考えることができる。
授業計画の概要	本講義は、テキスタイルデザイン、ファッションデザイン、ファッション企画の各分野において、情報収集や商品開発、情報発信を行うスペシャリストによる講義や企業・工場を訪問する学外演習を実施する。デザイン、および職業に対する見聞を深め、職業意識を高めることを目的とする。
授業計画	1・2・3：テキスタイルデザインの現場 4・5：テキスタイルデザインの生産現場 6・7・8：ファッションデザインの現場 9・10：ファッションデザインの生産現場 11・12・13：ファッション企画の現場 14・15：ファッション小売店の現場
実務経験のある教員	特別講師による実施。
授業時間外学習	日頃からファッションやテキスタイルデザイン、ファッションビジネスの動向を肌で感じ取るため、アンテナを敏感に広げ、各種メディアによる情報収集を行うこと。
評価方法	各回の授業で行うレポートと取組み姿勢による評価を行う。
指導方法	
使用テキスト	必要に応じて配布する。
参考テキスト・URL	
各自準備物	
実習費	
その他	

科目名称	卒業研究 (F)		授業コード	30049992	
担当教員	笹崎 綾野	瀬能 徹、金沢 香恵、権 裕美、見寺 貞子			
単位数	10	授業形態	実習	科目分類	必修
年次	4	開講年度	2023	開講学期	前期
関連資格					

授業実施方法	対面授業
使用するアプリ等	KDU ポータル、Teams
履修制限等	F 生限定
授業の目的と到達目標 (学習成果)	<p><授業の目的> 各自でテーマを設定し、卒業制作あるいは卒業論文としてその成果をまとめる。社会や身の回りの事柄に目を向け、自ら課題を設定し、デザインを通して問題解決や表現を行う。</p> <p><到達目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 研究を計画的に遂行することができる。 ・ 先行事例や先行研究を調査し、オリジナリティーのある研究テーマを設定することができる。 ・ 研究目的にそったプロセスを設定し、結論を導き出すことができる。 ・ 研究成果を分かりやすくまとめ、適切な専門用語を用い、プレゼンテーションすることができる。
授業計画の概要	<p>学修の集大成である卒業研究では、専門的スキルを基に各自のテーマにそった研究を遂行する。専門に応じた指導教員の下、ゼミ形式で研究を進めるが、他教員の助言を受けることもできる。研究形式には、「卒業制作」および「卒業論文」があり、基本的には個人で実施するが、それぞれの役割を明確にした上で、共同で実施することもできる。卒業研究の成果は、学科内「卒業研究審査会」にて審査の上、大学「卒展」にて一般公開する。「卒展」での発表形式は、「展示」と「ファッションプレゼンテーション」があるが、「展示」のみ、あるいは「展示」と「ファッションプレゼンテーション」の両方を選択することができる。</p>
授業計画	<p>4 年生オリエンテーション：卒業研究ガイダンス 5 月上旬：テーマ発表会 7 月下旬：前期作品展および講評会 10 月下旬：中間発表会 12 月中旬：提出および卒業研究審査会 2 月中旬：卒業作品展</p>
実務経験のある教員	企業等での実務経験のある教員により、プランニングや技術などの実践的指導を行う。
授業時間外学習	基本的にゼミは、助言や情報交換、進捗状況の確認が主である為、各自の実践は時間外学習として行うこと。
評価方法	毎回のゼミに出席し、テーマ発表会、中間発表会、事前発表会での発表、卒業研究審査会での提出を満たしていることを前提とし、卒業審査会に提出された「最終成果物」100%で評価する。
指導方法	各ゼミ教員による日々の助言を主とし、テーマ発表会、前期作品展および講評会、中間発表会、卒業研究審査会にて学科教員からコメントする。
使用テキスト	指導教員より適宜指示する。
参考テキスト・URL	ゼミ指導教員より適宜指示する。
各自準備物	ゼミ指導教員より適宜指示する。
実習費	制作や情報収集時の交通費など研究にかかる費用は、実費とする。
その他	3 年次修了時点の取得単位数 90 単位以上が卒業研究着手条件であり、単位数が満たない場合は卒業研究を履修できない。テーマ発表会、前期作品展および講評会、中間発表会、卒業研究審査会には必ず出席し、提出物の期日を厳守すること。卒業研究に関する連絡は、メール、Teams、KDU ポータル、掲示等で行う為、必ず確認すること。優秀な卒業研究（作品または論文）には「学長賞」、それに準ずる研究には「学科賞」、各コースの優良作品には「コース賞」を授与する。